



発行: 石岡市役所

編集: 管理部庶務課文書広報係

印刷: 高橋印刷株式会社

- しごとに誇りをもち、栄えるまちをつくります。
- きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- からだをきたえ、明るいまちをつくります。
- 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
- たがいに助けあい、楽しいまちをつくります。



四月十日渡りぞめが行われた二線人道橋

市では、石岡駅の西側と東側を結ぶ、二線人道橋の建設を昭和五十三年四月より進めておりましたが、さる四月十日、駅西口の二線人道橋登り口広場で開通式を行いました。

式典後、山本吉藏市長、小松崎正副議長、藤井徹水鉄局長がテープカットをし、駅東広場用地提供者を含む関係者百二十人が渡りぞめをし、同日より開通いたしました。

# くるま社会での “弱者”を守ろう

このほど、石岡警察署等より  
発表された、昭和五十四年・交  
通事故白書を見ると、事故発生  
状況は、県内では一〇、五二八  
件発生し、死者が三六人、負  
傷者一三、八六七人。石岡署管  
内では、七四七件発生、死者が  
二八人、負傷者が九七一人とな  
っております。

市内の状況を見ると、三三三  
件発生、死者一三人、負傷者四  
四人と、五十三年より件数・  
者一四九人となり、そのうち市

署管内の五十四年中の子ども  
の事故（幼児～中学生）は、一  
四五件発生し、死者四人、負傷  
者一四九人となり、そのうち市

内では、六四件発生、死者一人、  
負傷者六三人となり、発生件数  
は署全体の四四バーセントを占  
めています。

また、被害時の状況を見ると  
歩行中が大半を占めております。  
次に、老人の事故は、八一件  
発生し、死者七人、負傷者七四  
人。うち市内では三四件発生し  
死者三人、負傷者三一人となっ  
ております。

これらを被害時の状況で見る  
と、歩行中が二六件（死者四人）  
自転車二一件（死者一人）、二  
輪車運転中二一件（死者一人）  
となり、老人の事故死者は、全  
員が歩行中か自転車・バイク等  
に乗っていたときに起きたもの  
です。

高校生の関係した事故では、  
署管内で七三件発生し、二人死  
亡、八七人の負傷者となり、事  
故の六〇パーセントが原付（五  
〇CC以下）の運転中です。

このように、これら事故原因  
なりません。

県でも、最近は粉石けん使用  
運動を推進しております。石岡  
でも、常時店頭に配置されるよ  
う、積極的な指導が欲しいと思  
います。

この運動を小さな輪から大き  
な輪へ広げて行き、子孫によい  
環境を残して行くことが、私た  
ちのつとめではないかと思いま  
す。

死者数が三〇パーセント強増加  
しております。そこで今月は、子どもと老人  
および自転車とバイクの事故を  
抜粋し、これらの乗りものの安  
全な乗り方について考えてみま  
しょう。

見てみると、手軽に乗れる  
ためか、運転技術の未熟や基  
本的な交通ルールの無視などから  
起きていることが多いようです。

そこで、大型車に近づかない。

大型車は、左方及び後方に大  
きな死角があるので近寄らない。

障は事故につながることが多い。

△自転車

△体に合った自転車に乗ろう。

子どもさんに自転車を買いや与  
えるとき、すぐ体が大きくなる  
からと、大きめの自転車を選ぶ  
のは事故を招くものになります。

△日ごろの整備点検を。

△自転車を正しくかぶろう。

△法定速度を厳守しよう。

△三千キロの速度を守りましょ。

△ヘルメットを正しくかぶろう。

△大型車に近づかない。

△大型車は、左方及び後方に大  
きな死角があるので近寄らない。

## 安心して農地の貸し借りが……

### 農用地利用銀行

昭和五十四年度は

水田・畑

・八三八アール  
の貸し借りが成立

農用地利用増進事業の推進に  
伴う、昭和五十四年度の農用地  
利用銀行設置事業は、農家のみ  
なさまのご協力により、計画規  
模を大幅に上回る、一四〇六・  
七五アールの実績を図ることができます。

市では、農家のみなさまより  
申し出のあつた、農地の貸し借  
り（利用権設定）をまとめ、農  
用地利用増進規程に基づき、增  
進計画を策定いたしました。

この計画は、利用権を設定す  
る者および利用権の設定を受け  
る者の地上権、永小作権、質権、  
賃借権、使用貸借により権利又  
は、他の使用および収益を  
目的とする権利を有する者の、  
すべての同意を得たのち、農業  
委員会の審議を経て決定されま  
した。

したがって、この農用地利用  
増進計画を県知事に通知すると  
ともに、増進規程に基づき、昭  
和五十五年四月三十日を以って  
公告いたします。

なお、この計画が策定される  
までの経過および実績内容につ  
いては、次表のとおりです。

※詳しい計画内容については市  
役所農政指導係へ。

電話(3)一一一内線二四二

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑

田 畑



▲無事故祈願の千人針を……

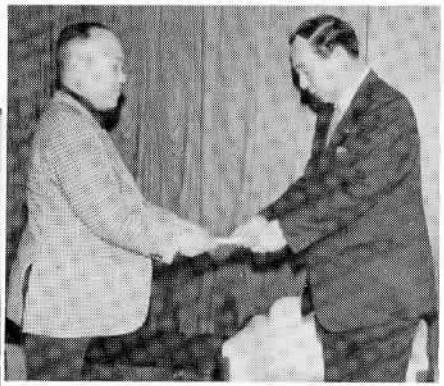
さきほど、交通安全母の会、女性ドライバー友の会のみなさん(30人)により、交通安全の千人針が駅前で行われ、400人の協力でねた無事故祈願の布ができあがりました。

## ▼けやきの家へ設備資金を寄贈

さる2月28日「石岡愛の福祉保険会(柴野善兵衛会長)」(郵便局の簡易保険加入者)から、市の心身障害者福祉施設“けやきの家”へ諸設備充実のために、110万円を寄付されました。



▲市立図書館・府中地区公民館がしゆんこう  
さる4月17日、図書館・府中地区公民館の合同しゆんこう式が図書館で、社会教育委員及び諸団体の委員等、関係者170名を招待し行われました。両施設とも業務を始めおり、みなさんの利用をお待ちしております。



▲善意銀行へ36万余を予託  
「嵐の中の男たち」上演実行委員会(海老沢満雄代表)では、さきほど行われた映画上演費用の剩余金36万2,800円を善意銀行に予託されました。

## まちのできごと

来年、市史中巻(史料集)の刊行が予定されており、現在、それに向けての史料の調査・収集に取り組んでおります。

さる三月二十八日、専門委員は高浜の史料調査を行いました。高浜は、霞ヶ浦湖畔という地の利に恵まれ、古来水運の要衝として繁栄を誇ってきた。その故に水運、回船を中心とした史料が、比較的よく残されている。

まず、川島操氏宅を訪問、幕末・維新に活躍した勝海舟の書跡を拝見した。掛軸には五言絶句で「孤峰秀碧晃、觀之可養真摙々成何事、時危運偉人。海舟散人」とあり、知的で閑達な海舟の人物をうかがわせる書体であった。

ついで羽成久弥氏宅へ向った。同家は、米穀・肥料販売・醸造業などを営み、通称浜卯と呼ばれた高浜の代表的豪商で

## 高浜の史料探訪

専門委員  
塚本福衛

なお、書院廻に李斗瓈(中國人)署名の書があるが、この人物解明はこれから課題である。



ところしきりと筆を執り、ために鉄舟直筆とされる書幅は決して少なくないが、高浜はとりわけ鉄舟の書跡が多くみられる。その主な理由は、市史上巻でも記したように、鉄舟の実兄小野古風が高浜に在住していた縁により、弟鉄舟が高浜によく来遊したためと考えられる。

前述の勝海舟も鉄舟とは親しい交友関係にあつたし、ほかにこれら両名とともに、「幕末の三舟」と称された高橋泥舟の書跡も、高浜に数点あり興味深いところです。

高浜は舟運の中心地で、江戸との往来も繁く、文人墨客や知名士の来訪も少なくなかつた。水運に関係した篠目八郎兵衛家ほかにも、史料は数多く残されているところから、今後の調査いかんによつては、石岡市史の空白のかなりの部分が充たされると期待される。

石岡旧市内を中心として、火災などによる史料の散逸、亡失は著しいが、歩いて史料を発掘することの大切さを教えてくれた。

昭和五十五年——ことしの十月一日には、全国いっせいに国勢調査が行われます。国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象とした、国最も基本的で大規模な統計調査です。大正九年、「文明國への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来、五年ごとに行われ、ことしの調査は十三回目に当たります。

全国で約七十五万人の調査員が四千五百万枚の調査票を全世帯に配布し、ご記入願う」というこの国をあげての大統計調査によって、人口や世帯数は

もちろん、年齢別・性別別・産業別・職業別にみた人口構成や世帯構成なども明らかにされます。その結果は、県や市町村別にまとめられ、行政をはじめ広い分野にわたって活用されます。

## 調査員募集

市では、この調査に従事していただく調査員を、次により募集いたします。

▼申込者の資格

市役所企画室統計係へ電話で申込みください。  
電話(029)111-3477

このほど、市社会福祉協議会役員(会長・副会長)の任期満了に伴い、後任の選任が行われ次の方々が選ばれました。

会長 山本吉藏氏  
副会長 三城教文氏  
副会長 服部農夫雄氏

の表彰者(六十六人)と一緒にいる、市内の民生委員・児童委員は五十八人おりますが、このたび二十年以上、地域住民の相談相手として、社会奉仕を担当してきた、市内三村坂井戸の浅野近(七十五歳)さんが、県内

二月から委員となり、三村地区を担当、行政を側面から援助し保護より更生をモットーに、恵まれない人、困っている人に手を差しのべ、自立に導く指導を現在まで行ってきている方です。

浅野さんは、昭和三十四年十二月三十日、県議会議事堂において、厚生大臣特別表彰を受けられました。

## はかりは正確ですか

計量器の定期検査を次の日程で行います。取引又は証明に使用される方は、かならず受験してください。

当日は、計量器をきれいにし印かんと検査料をご持参ください。

月 日	曜	時 間	場 所	実 施 区 域
6.17 18	(火) (水)	午前10時～ 午後3時	市民広場	石岡地区
6.19	(木)	午前10時～ 午前11時30分 午後1時～ 午後3時	三村農協 関川農協	三村地区 関川地区
6.20	(金)	午前10時～ 午前11時30分 午後1時～ 午後3時	高浜農協 各工場	高浜地区 富士菱石油ガス
6.23	(月)	午前10時～ 午後3時	各工商店	神栄、アルコール 東日電線、各商店(光電式)
6.24	(火)	午前10時～ 午後3時	各工場	石岡精工、筑波乳業
6.25	(水)	午前10時～ 午後3時	各工場	ソントン第一工場 ソントン第二工場
6.26	(木)	午前10時～ 午後3時	各工商店	各工場、各商店(光電式)
6.27	(金)	午前10時～ 午後3時	市民広場	石岡地区

## ことしは国勢調査の年です

市内に居住している満二十歳以上の方。(家庭の主婦歓迎)

## 三村の浅野近さん

厚生大臣特別賞受ける

期待される新しい⑤  
エネルギー開発



噴火にはびっくりさせられましたが、いまさら言うまでもなく、日本が世界でも屈指の火山国であることはご存じのとおりです。この日本列島に潜むる地熱エネルギーは、全世界の一部分に相当する膨大な量になると予測されています。

小さな日本列島が、地熱エネルギーに関する限り“資源大国”なのですから。もちろんその活用は着々進んでいます。

地熱エネルギー

一万年ぶりといわれる木曽の御岳山の噴火にはびっくりさせられましたが、いまさら言うまでもなく、日本が世界でも屈指の火山国であることはご存じのとおりです。この日本列島に潜むる地熱エネルギーは、全世界の一部分に相当する膨大な量になると予測されています。

また、これまでほんと利用されることはなく、再び元の地下へ送り返されていた热水の活用も有望です。热水は蒸気との四倍もの豊富な量があるから

## 火山国ならではの熱資源

（5）

地熱エネルギー

おり、東北の岩手県・葛根田から九州の大分県・八丁原まで列島各所で地熱発電所が噴氣を上げ、昭和五十五年度には合計約二万キロワットに達する見込みです。資源エネルギー庁では、この地熱発電能力を、六〇五年度には三五〇万キロワット、七〇年には七〇〇万キロワットまでのはず開発目標を立てています。

また、これまでほんと利用されることはなく、再び元の地下へ送り返されていた热水の活用も有望です。热水は蒸気との四倍もの豊富な量があるから

です。この热水も、このほど工業技術院が開発、北海道と九州で試験運転に入っています。蒸気発電、热水発電の併用で地熱エネルギーの利用は今後飛躍的に増えることでしょう。

さらにこうした热水は、地域冷暖房とか温室栽培、養魚、寒地の融雪など多方面に生かすことも可能であり、小規模ながらすでに利用が始まっています。

しかし、地熱発電の候補地の多くが国立公園、国定公園などの中にありますことから、ここでも自然との調和という環境問題にのみ知恵を出し合い、コンセ

ンサスをつくり出す必要に迫られています。

※詳しいことは、市役所商工観光課へ。

■取扱時間 平日午前9時～午後4時 土曜日午前9時～午後4時

■取扱業務内容 郵便振替、郵便貯金、郵便為替、郵便年金、簡易保険、郵便年金。

■取扱時間 平日午前9時～午後4時 土曜日午前9時～午後4時

■取扱業務内容 郵便振替、郵便貯金、